

19年度 環オホーツク地域における気候変動・環境変動のモデリングと予測可能性に関するワークショップ プログラム

日時: 2008年2月21日 13:00 - 22日 15:00

場所: 北海道大学低温科学研究所2F 講義室

1日目 (2月21日)

13:00 - 13:10 三寺 史夫 趣旨説明

13:10 - 13:40 中村 尚 (東大理)

ブロッキングに伴う地表寒冷高気圧の発達

13:40 - 14:10 高谷 康太郎 (JAMSTEC 地球フロンティア)

真冬の北極振動的な循環の前兆として観測される惑星波活動の変化

14:30 - 14:50 吉田 聡 (JAMSTEC 地球シミュレータセンター)

再解析データに見られる低気圧とオホーツク海海氷の関係

14:10 - 14:30 本田 明治 (JAMSTEC 地球フロンティア)

海氷域変動が大気循環場に及ぼす影響

14:50 - 15:10 小守 信正 (JAMSTEC 地球シミュレータセンター)

CFESによる高解像度大気海洋結合シミュレーション ~ 環オホーツク地域を中心に ~

< 15:10 - 15:40 休憩 >

15:40 - 16:00 田口 文明 (JAMSTEC 地球シミュレータセンター)

黒潮続流域の海面水温前線に対する海面熱フラックスと下層大気の応答:2003 - 04 冬季における領域大気モデル実験

16:00 - 16:20 松田 淳二 (低温研)

オホーツク海の熱塩循環

16:20 - 16:50 中野渡 拓也 (低温研)

渦解像海洋大循環モデルで再現される北太平洋亜寒帯中層の50年スケール変動

16:50 - 17:20 立花 義裕 (JAMSTEC 地球観測センター)

オホーツク海における大気海洋双方向作用研究例 --霧/下層雲研究, オホーツク海の淡水収支研究--

17:20 - 18:00 議論:環オホ - ツク圏の気候変動研究の進め方

2日目 (2月22日)

9:00 - 9:20 藤崎 歩美 (東大工)

オホーツク海における海氷-海洋結合計算:大気データの違いと海氷の考慮がシミュレーション結果に及ぼす影響について

9:20 - 9:40 佐川 玄輝 (東大工)

オホーツク海における非静力海洋・海氷結合計算

9:40 - 10:10 本井 達夫 (気象研)

稚内と紋別の水位差による宗谷海峡通過流量の復元と予測

< 10:10 - 10:40 休憩 >

10:40 - 11:00 西岡 純 (低温研)

西部北太平洋亜寒帯域における微量栄養物質(鉄分)の供給過程

11:00 - 11:20 小笠 恒夫 (北水研)

北太平洋亜寒帯域の成層化と一次生産の変化

11:20 - 11:40 中村 知裕 (低温研)

冬季親潮域における表層鉄分布と水塊構造の同時観測

11:40 - 12:00 東屋 知範 (北水研)

サケに装着したアーカイバルタグデータについて

< 12:00 - 13:20 昼食 >

13:20 - 13:40 笹井 義一 (JAMSTEC 地球フロンティア)

北太平洋亜寒帯域における物質循環シミュレーション

13:40 - 14:00 三角 和弘 (電中研)

数値実験による北太平洋亜寒帯域の鉄の供給源の考察

14:00 - 14:20 戸田 求 (低温研)

亜寒帯陸域起源の鉄生成・輸送化に関する陸面モデル研究方針

14:20 - 15:00 議論:モデル研究の今後の進め方